



第59回 関西学院張記念館 レクチャー・コンサート

# ハーディ・ガーディ

まわして奏でる  
ヨーロッパの不思議な楽器

① 10:00~10:20  
研究者による  
楽器の歴史

② 10:30~10:50  
楽器製作・修復家による  
楽器構造

③ 11:00~11:30  
演奏者による  
演奏とゴッス

演奏体験  
コーナーも  
あります!



2025

6/14(土)

10:00~11:30

参加無料・要事前予約  
詳細は裏面をご覧ください

ところ

関西学院張記念館

兵庫県西宮市上甲東園1-11-12

# ハーディ・ガーディ

まわして奏でるヨーロッパの不思議な楽器

## 関西学院張記念館

### レクチャーコンサートとは？

関西学院張記念館レクチャーコンサートは、音楽学者の張源祥（1899-1973）によって設立された「張記念館（旧 関西音楽学研究所）」で開催されているレクチャー付コンサートです。関西学院大学文学部美学研究室が主催し、学生が主体となって運営しています。

\* \* \*

59回目の開催となる本年度は、中世からヨーロッパで演奏されてきた弦楽器、ハーディ・ガーディを取り上げます。日本での知名度はあまり高くありませんが、モーツァルトやシューベルトなどの音楽家も、この楽器を使っていました。本コンサートでは、ハーディ・ガーディが18世紀フランスで発展したことに注目し、歴史・楽器構造・音楽・ダンスといった視点から紹介します。

## お問い合わせ

関西学院張記念館レクチャーコンサート実行委員会

メール kg.lectureconcert@gmail.com

電話 0798-54-6212

（関西学院大学文学部美学研究室）

## 申込方法

入場無料（要事前申込）

2025年5月30日（金）までに

下記URL または QRコードからお申込ください

<https://forms.gle/WjagjBkxk3V76tKi8>



お申込確認後、実行委員会よりメールにてご連絡させていただきます。メールを受信できるようにドメイン解除等の設定をお願いいたします。

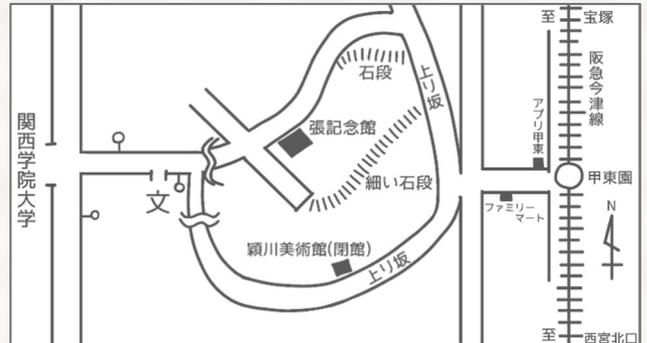
## 会場アクセス

関西学院張記念館（西宮市上甲東園1-11-12）

阪急今津線「甲東園」駅より徒歩5分

※ 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス内にはございません

※ 駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください



### 木村遥 (KIMURA Haruka)

関西学院大学非常勤講師、日本学術振興会特別研究員PD。博士（芸術学）。17世紀から18世紀にフランスで確立されたバグパイプとハーディ・ガーディの演奏習慣に注目し、民俗音楽が宮廷音楽に取り入れられていく過程の解明に取り組んでいる。



### 大竹啓司 (OTAKE Keiji)

伝統楽器の復興が起こった時期のフランスに滞在し、ハーディ・ガーディに出会う。パリのフォーク・クラブ「ブルドン」の会員となり楽器を習い覚える。現在、南山大学大学院国際地域文化研究科博士前期課程でハーディ・ガーディを対象に研究中。



### 近藤治夫 (KONDO Haruo)

古楽バグパイプ演奏家・作家。ヨーロッパ中世・ルネサンスの音楽を演奏する「ジョングルール・ボン・ミュージシャン」代表。中世民衆音楽の担い手である放浪楽師＝ジョングルールに着目し、彼らの音楽・精神を現代にどう甦らせるかをテーマに活動を展開中。



### 吉川智大 (YOSHIKAWA Tomohiro)

スペイン・ビーゴ市立美術工芸学校ハーディ・ガーディ製作専攻修了。同市立伝統音楽院でA. Pintos氏に演奏を師事。帰国後は製作の他、コンサートや録音、踊り会等で活動。現地での経験を活かし、幅広いレパートリーを風景が見えるようなアレンジで演奏している。



### レジス・フルリー (Régis FLOURY)

弦楽器製作家・修復家。パリ国立文化遺産学院卒業。フランスやスペインの博物館で楽器修復・保存に従事。同時に、ビーゴ市立美術工芸学校でハーディ・ガーディ製作を学ぶ。卒業後にHylicaを設立し、古典的な手仕事の普及にも取り組んでいる。



### サリー・ラン (Sally Lunn)

様々な演奏経験の後に巡り逢った、天然古材から復元された西洋古楽器の響きの美しさに衝撃を受け、古楽器演奏に傾倒。中世の音風景が蘇るような物語性ある音楽舞台を創造している。暮らしの古楽ボスク・フルイテル主宰。